これこそ分け合うという意味を持ったシェアから来ている「シェアシステム」の特徴です。シェアという言葉の意味は「分け前」や「出し分」といった意味がある反面「負担」や「出し分」といった意味をも持っています。

地区補助金やグローバル補助金の原資はみんなで負担しあっているのです。

次に寄付金の現状についてご説明していきます。

(この表は) 財団室 NEWS 8 月号より抜粋した国内 34 地区の 2015-16 年度の寄付実績をもとに当地区の寄付の現状をご説明していきます

昨年度当地区の年次基金寄付総額は343,352.30 ドルでした。また、会員1人当たりは126.28 ドルでした。地区ごとに会員数が違います。寄付総額ではなく1人当たりの寄付額で比べてみましょう。1人当たりの寄付額は全国34地区中、21番目という事になります。

これは多いのか少ないのか難しいところです。次に関東地方の地区で比べてみましょう。

関東地方の地区の状寄付況はどうでしょう?我々の2790地区はというと…一番低い事が分かります。

過去4年間の平均を調べてみました。4年間の平均が120ドルという結果でした。

日本全体の平均では 135.4 ドルで、平均でも最下位となり、関東地方の 10 地区中、10 番目という結果です。なんとも悲しい結果です。

ロータリーは寄付団体ではございません。しかしこれでいいのでしょうか?

「シェア」分け合う反面負担もしあうものです。

確実に関東の平均を下げています。いや、日本の平均も下げています。

次に地区の状況です。昨年度年次基金寄付の総額は343,352,30 ドル。1 人当たりの平均は126,28 ドル(全国平均136,08 ドル)。 昨年度までの1 人当たりの寄付目標は130 ドルでした。これを達成されているクラブは31 クラブ。未達成クラブは53 クラブ という結果でした。また、最も多いクラブで1 人当たり678,30 ドル。最も少ないクラブで1 人当たり6.73 ドルでした。100 倍以上の差が開いております。

地区全体の寄付実績を年度別に少し抜粋してみました。

年次基金寄付の推移は 5 年間では 2011-12 年度が一番多く、次は昨年度(2015-16 年度)でした。また、年次基金寄付が最も少なかったのは 3 年前すなわち、今年度使える地区財団活動資金に影響が出ています。3 年後の地区の社会奉仕、国際奉仕活動の活性化のために寄付ゼロは勿論、1 人当たり 150 ドル以上のご寄付のご協力をお願い致します。

また、注目するところは「寄付ゼロクラブ」です。 2、7、14、1、0となっています。昨年度は念願の寄付ゼロクラブがゼロとなりました。

次に皆さんのクラブの状況を分析しました。

5 年間の年次基金への寄付総額の平均は、84 クラブ中 2 番という大変素晴らしい結果でした。1 人当たりの寄付額でも 2 番という結果で 1 人当たり 249.10 ドル、地区だけではなく日本全体の平均をも引き上げているという事です。本当にありがとうございます。

繰り返しますが、シェアシステムは寄付を分け合うだけでなく、分担し合うという意味もございます。「世界で良いことをしよう」 その第一歩は年次基金への寄付から始まります。

26 ドル 50 セントの最初の寄付が行われて以来、財団の資産は約 10 億ドルにまで成長し、これまでに 30 億ドルもの資金が、 世界中の何百万人もの生活に変化をもたらすプログラムや奉仕プロジェクトに投じられてきました。

これからもロータリー財団へのご理解とご協力をお願い致します。









THE ROTARY FOUNDATION

■ ==== BOX

- ・佐藤、津田、内貴、宮川、大森…結婚記念品を頂いて。ありがとうございます。
- 新井…欠席続きで申し訳ございません。誕生日祝いを頂きありがとうございます。
- ・吉野…父の樹バザーへ品物を提供いただき大変ありがとうございます。
- 花嶋…結婚祝いを頂きありがとうございます。仏前に供えさせていただきます。
- ・野口正夫…水野財団推進管理委員長様、ようこそお越しくださいました。本日の卓話宜しくお願いします。
- ・西川…元気が良くなりますように。
- ・ 今野、根本…誕生祝いを頂きありがとうございました。
- ・野口アキ子…お誕生祝いを頂きありがとうございました。寒くなり空気も乾燥して参りました。感染症予防に努めましょう。
- 花澤…ふれあい花壇へご協力をありがとうございます。
- ・須藤…地区インターアクト国外研修が無事に終わりました。誕生祝い、ありがとうございます。

